

えんがわ通信

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

第16号 2013年4月
発行 ＊ 一般社団法人パーソナルサポートセンター
住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉2階
電話 / 022-399-9662
FAX / 022-224-1621
WEB / http://www.personal-support.org/

70代の女性が活躍

セカンドハンド仙台

若林区河原町の商店街にあるコミュニティショップ「セカンドハンド仙台」で太白区内の仮設住宅に入居する70代の女性2人が活躍している。店を訪れる顧客に気に入ってもらえるよう商品を並べたり、お茶を飲みながら会話を楽しんだり・・・息の合った接客で、客の心をつかむ。

4月上旬の屋下がり。雑貨や洋服などが並んだ店の奥から、笑い声がこだまする。声の先に目をやると、テーブルを囲んで女性が3人。ほぼ毎日、店に足を運ぶという常連客と店員の2人が話に花を咲かせていた。

スタッフで最高齢の佐藤茂子さん(77)は、「仕事がある日は朝、『さあ今日も一日お店で頑張ろう』という気持ちになれ



笑顔で接客をする佐藤茂子さん(左)と菊地成子さん(右)

客や商品管理、会計などの仕事にあたった。店では食器や衣類などを販売しているほか、昨年11月から月1回、お茶会も実施。会話を楽しむだけでなく、編み物をするイベントなども催しており、交流の場として定着しつつある。最近では遠方からのイベント参加者もいるという。

「ころころ」メンバー クッキー作りに挑戦

えんがわ

太白区あすと長町のコミュニティ・ワークサロン「えんがわ」で3月26日、羊毛フィギュア「ころころにこまる」を制作する女性らが集まり、クッキー作りを行った。写真。

料理研究家の枝元なほみさんが開発した「にこまるクッキー」作りに取り組み女性らの提案で実現。参加者は、生地をこ

この日は、4人1組のグループに分かれ、そばやうどん打ちに励んだ。参加者は、役割分担しながら、粉をこねたり、生地を薄く延ばしたりする作業を体験。写真。

できあがったそばやうどんは、ゆで上げて、みんなで味わった。参加した女性は「みんな



ねたり、竹串を使って笑顔を描いたり、真剣な表情で、クッキー作りに取り組んだ。仙台市内のみなし仮設住宅を離れ、南相馬市に引っ越すことになった参加者の女性は、半年近く「ころころにこまる」作りに関わったことを振り返り、「初めてのころは、手芸が苦手だったが、作っているうちに自信が

なで一緒に集まり、作業をして作ったものを食べるのは楽しい」と話していた。

今年度の農業関連のプロジェクトは4月17日にスタート。5月15日は午後1時半から同大敷地内のビニールハウスで、花の寄せ植えやイチゴの栽培などを行うほか、同月20日には、食品加工体験が行われる予定。連絡先はPSC就労準備課022(395)6258。

いた。

新たな出会い楽しみに

えんがわの輪④



阿部 誠子さん(67) 宮城野区榴岡

震災以降、体調不良が続いていました。「これではいけない」との思いから昨年9月に「えんがわ」の封入作業に参加しました。

「えんがわ」は自分の家にいるようで、居心地が良く、ことし1月には、家に引きこもりがちな夫も誘い封入作業に参加しました。当初、作業ができるか心配だった夫ですが、実際に参加してみると、「またやりたい」と言い出し、笑顔も増えました。

作業に参加して半年。わたしの体調も少しずつですが、良くなってきました。多くの人と出会えたからだと思います。

まだ「えんがわ」を知らない方々にも、機会を見つけています。新たな出会いが、私たち夫婦の楽しみになればうれしいです。

Interview

実習生の受け入れを通じ、多くの人が介護のしごとを知り、お手伝いをしていきたい。

社会福祉法人 やまとみらい福祉会 特別養護老人ホーム 抱優館 八乙女 理事 事務長 早坂 勇人 さん



2012年8月に開所した仙台市泉区の特別養護老人ホーム「抱優館 八乙女」は、ことし2月3月に一般社団法人「パーソナルサポートセンター」(青葉区・略称PSC)の職業体験実習生を受け入れられました。「より多くの人に介護の仕事を知ってほしい」との思いから、今回初めて、50代の実習生を受け入れたそうです。実習の様子などについて、事務長の早坂勇人さんに話を伺いました。

受け入れの経緯について教えてください。幅広い年代の方々に働いてもらいたいという思いから、今回初めて職業体験実習の受け入れを行いました。被災者の方々に対して、何らかのお手伝いができればという思いもありました。

実習生を受け入れてみて、いかがでしたか。実習生は、社会的な経験を積まれている方で、職員や入居者の方々とコミュニケーションがうまく取れていたと思います。仕事に対するモチベーションも高

かったと思います。入居者の方々と視線を合わせ、相手を敬いながら上手に声掛けができていたと感じました。

具体的な実習の流れについて教えてください。実習では、オリエンテーションをしてから、介護の現場に入ってもらいました。入居者の方々とコミュニケーションをとるなかで、ケイションや入浴の介助などを体験してもらいました。

現場のリーダーが対応し、スムーズに実習を行うことができました。今年度の新人職員への指導についても、はいかがですか。

職業体験実習で培った経験を生かしていきたいと思っ

職業体験実習で、指導力をつけていけば、職員全体のスキルアップにつながるのではないかと考えています。今回、受入をした実習生には、良い印象を持っていただけただけではないかと思っ

職業体験実習で培った経験を生かしていきたいと思っ

職業体験実習で培った経験を生かしていきたいと思っ

職業体験実習で培った経験を生かしていきたいと思っ

職業体験実習で培った経験を生かしていきたいと思っ

職業体験実習で培った経験を生かしていきたいと思っ

職業体験実習で培った経験を生かしていきたいと思っ

職業体験実習で培った経験を生かしていきたいと思っ

職業体験実習で培った経験を生かしていきたいと思っ



「わくわくわく」の所在地

市営地下鉄勾当台公園駅徒歩3分 北四番丁駅徒歩5分 市バス・宮交バス 県庁・市役所・青葉区役所前徒歩2分

TOPICS (5月)

就労支援相談センター「わっくわあく」

職業体験実習 参加者募集

就労意欲のある被災求職者を対象に、現場で働く感覚を身につけることを目的とした職業体験実習の参加者を募集しています。
 実習先は、食品加工や販売、事務系などさまざま。自分に適した仕事探しや今後の就職活動へのステップアップの場になります。
 実習生には、日数や時間に応じて、最大で10万円の奨励金が支払われます。

◎お申込み・お問い合わせ
 TEL: 022-395-6258 [PSC就労支援課]

ハローワーク出張相談 事前予約制

ハローワーク仙台的「就職支援ナビゲーター」が、就職に関するさまざまな相談に応じます。
 ■日時: 5月17日(金) 13:30~16:00
 ■場所: 就労支援相談センター「わっくわあく」
 ■定員: 5人

◎お申込み・お問い合わせ
 TEL: 022-395-6323 [PSC就労相談課]

就業や進路に関する個別相談

専門の相談員による、就職や進路・キャリアなどに関する個別相談を開催します。(就職のあっせんではありません)
 ■日時: 5月20日(月) 13:00~20:00 (お一人50分)
 ■場所: AER 6階 情報・産業プラザ
 ■対象: ①学生・求職中の方(年齢不問)、②在職者(30代まで)
 ■定員: 20人
 ■申込締切: 5月13日(月) 必着

◎申込方法: 郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・求職中/在職中のいずれかを記入し、郵便・FAX・Eメールでお申込みください。ご希望の相談時間がある場合にはご明記ください。締切後に応募者全員に決定通知書をお送りします。

◎お申込み・お問い合わせ: 仙台市産業振興事業団
 〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階
 TEL: 022-724-1212, FAX: 022-715-8205
 Eメール: koyoushien@siip.city.sendai.jp

のびすく仙台

◎利用できる人 主に乳幼児とその家族
 ◎住所 仙台市青葉区中央2丁目10番24号
 (仙台市ガス局ショールーム3階)
 ◎お申込み・お問い合わせ
 TEL: 022-726-6181, FAX: 022-214-5071

女性相談 申込不要

専門家が相談に応じます。家庭、仕事、子ども、自分のことについて、胸の内を話してみませんか?
 ■日時: 5月14日(火)・28日(火) 10:30~12:30
 ■場所: 情報コーナー

babu*スペース 申込不要

0歳児の親子のスペースです。子どもを遊ばせながら、おしゃべりに、お友だちづくりにご利用ください。
 ■日時: 5月9日(木)・21日(火) 9:30~11:00
 ■場所: こどもひろば
 ※申込みは必要ありません。直接受付にお越しください。

コミュニティ・ワークサロン「えんがわ」

封入手伝い 募集

「復興定期便」(仙台市からのお知らせ)の封入作業の参加者を募集しています。
 ■日時: 5月22日(水)・23日(木)・24日(金)
 9:00~12:00 / 13:00~16:00
 ■対象: 震災発生時に登米、大崎、気仙沼など宮城県北部に住んでいた被災者
 ■謝礼: 2,000円相当の商品券(3時間ごと)
 ■申込締切: 5月13日(月)

料理教室

「仙台友の会」が、栄養改善を目的に料理教室を開きます。安くて栄養バランスのとれた料理で、お食事や会話を楽しみながら、食生活の改善について考えてみませんか?
 ■日時: 5月15日(水) 10:00~13:00
 ■定員: 15人
 ■参加費: 200円(実費)
 ■持ち物: エプロン
 ◎お申込み・お問い合わせ
 TEL: 022-395-6258 [PSC就労準備課]

総合相談センター

「仕事、お金、住まい・・・どうしたらいいの?」 ワンストップで複合的な悩みに対応

「仕事を失い、金もない。住むところもない。この先どうしたらいいのだろう。」
 一般社団法人パーソナルサポートセンター(略称:PSC)の総合相談センターに寄せられた相談だ。
 同センターは、ワンストップの窓口で、さまざまな悩みに対応しようとして2012年10月16日に青葉区二日町に開所。被災で生活が困窮した人などを対象に、福祉や就労などの分野で支援活動を展開する関係機関と連携しながら、複合的な悩みに対応している。相談件数は、13年4月1日現在で79件ののぼる。



複合的な悩みに対応する総合相談センター

相談で最も多いのは、シエルト(二時保護)への入所依頼。「仕事がない」「パートナから暴力を受けている」「食料がない」などの相談で、同センターを訪れる相談者もいると佐藤圭司センター長は「どこに相談したらいいのかわからずに悩んでいる方々に対して、関係機関と連携しながら、つなぎ先を紹介したり、同行支援などを行っています。一人では解決できない悩みで低下した『力』を回復するお手伝いをしていきたい」と話している。

総合相談センターの開所時間は平日の午前9時半~午後4時。相談は無料だが、事前に予約が必要。連絡先は022(399)9716。

えんがわ通信 求人情報

就労支援相談センター「わっくわあく」(PSC就労支援部)と提携する特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」が、求人情報をお届けします。
 ※特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」無料職業紹介事業(許可番号04-ム-300010)

●契約社員
 ●介護職員 青葉区国見ヶ丘
 介護業務全般(食事・入浴・排泄介護、通院等外出支援、ほか生活全般の支援)
 給与/139,500円(他に夜勤手当1回4,000円/月5~6回有)
 勤務時間/(1)7:00~16:00、(2)12:00~21:00、(3)21:00~翌7:00のシフト制(場合により、その他時間帯あり、(3)は月5~6回あり)
 休日・休暇/月間9~10日(シフト制)
 加入保険/雇用・労災・健康・厚生
 免許・資格/普通自動車運転免許、ヘルパー2級以上優遇

社会福祉法人東北福祉会(特別養護老人ホーム「リベラ荘」)

●パート
 ●軽作業・現場作業 仙台市内
 庭木の手入れ作業(草刈り・草取り・枝切り等)
 給与/時間給700円~1,000円
 勤務時間/9:00~17:00の間の5時間以上
 休日・休暇/日祝他(週2~6日)
 ※週所定労働日数 週1~5日程度
 加入保険/労災(※就労時間により加入保険が変わります)
 免許・資格/普通自動車運転免許(AT限定不可)

デジタルバンク 株式会社

●パート
 ●きものの商品管理 事務及び店頭接客 若林区荒町
 きものの仕立・加工品の管理等(経験問わず・研修有り)
 給与/時間給730円
 勤務時間/(1)10:00~19:00、(2)10:00~17:00のシフト制(通常は(2))
 休日・休暇/水他(週2~4日)
 ※週所定労働日数 週3~5日
 加入保険/雇用・労災
 免許・資格/普通自動車運転免許

株式会社 奥江呉服店

●正社員
 ●一般土木作業員 宮城野区岡田
 災害地農地の除塩、給水設備関連の調査・補修工事
 給与/179,200円~268,800円
 勤務時間/8:00~17:00
 休日・休暇/日祝他(年間96日)
 加入保険/雇用・労災・健康・厚生
 免許・資格/普通自動車運転免許

株式会社 豊都工業

●パート
 ●ホールスタッフ 青葉区国分町
 ホール全般業務、日本料理・かに料理、厨房等の簡単な補助業務(水洗い等)
 給与/時間給800円
 勤務時間/10:00~22:00の間の8時間程度
 休日・休暇/週休2日(シフト制)
 加入保険/労災(※就労時間により加入保険が変わります)
 免許・資格/不問

寿観光 株式会社(かに八)

●正社員
 ●ボディケア・リフレクソロジー 富谷町明石台
 ボディケア及びリフレクソロジー(未経験者歓迎)
 給与/150,000円~200,000円
 勤務時間/11:00~21:00の間の8時間
 休日・休暇/月6日、他に年間7日
 加入保険/雇用・労災(社会保険の非適用業種)
 免許・資格/不問

スマイルアンドリラックス(個人)

※求人は4月5日現在のものです。求人募集が終了している場合がございますので、あらかじめご了承ください。

求人に関する問い合わせ ▶ ワンファミリー仙台 求人担当 022-395-6364
 就職についてのご相談 ▶ 就労支援相談センター「わっくわあく」 022-395-6323

「えんがわ」のつばやき おもてなしの心を乗せて

秋田新幹線のE6系新車両「スーパーこまち」に乗る機会を得た。これまでの車両に比べ、先頭の車の鼻先が長く、車体のラインのあかね色は、秋田の伝統行事「なまはげ」などをイメージしたのだという。

デビューしたてということもあり、沿線では多くの家族連れが車を止め、乗客に向かって、手を振っていた。約1時間半で10組はいただろう。満面の笑みで手を振る子どもたちの何ともほほえましい姿に、心が温まった。

先日、仙台市の方から一通のメールが届いた。本通信の記事を見て、「えんがわ」で製作しているキャンドルをイベントで販売したい」という県外在住の方からの情報だった。

本通信も今回で16号を数える。発行を続ける中で、「えんがわ」の商品について、他県から問い合わせがあったのは初めてのこと。今後もうつた

そんな「おもてなし」の心を乗せた商品の数々が、仙台を訪れる多くの観光客の手に渡り、秋田新幹線の沿線で見たい子どもの情景のように、心を温めてくれることに期待を寄せている。(B)

大掛かりな観光宣伝をする「仙台・宮城・デステイション」(DC)が今月始まった。DCでは行政、経済団体、市民が一体となって、観光客を向かい入れる。6月30日までの3カ月間、さまざまなイベントも予定され、仙台にも多くの観光客がやってくる。これを機会に、被災地のことを知ってもらいたい。復興に弾みがつくことを願ってやまない。

キャンドルをはじめとする「えんがわ」の商品は、被災者のみなさんが、一つ一つ愛情を込めて作っている。